

授業科目名	看護政策論 <i>Nursing Policy</i>		担当教員	田村 やよひ、柳井 圭子	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	高度実践看護師には保健医療福祉サービスの質の向上に向けた活動を推進することが求められる。特に専門看護師には、ケアシステムの改善等を通して看護実践を向上させる活動が期待されている。そのための必須の知識である現行諸制度を批判的に検討し、社会構造の変化、国民のニーズの変化に合わせて、看護に関する新たな政策提言ができるよう基本的能力を育成する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今日の主要な保健医療福祉政策と看護サービス提供にかかる政策の動向およびその社会的背景を説明できる。 2. 政策決定過程についての理解を深め、多くのパワーが絡み合う中で看護職者として政策決定過程に参画するための方法を説明できる。 3. 臨床・地域などでの看護実践経験と看護政策との関連を批判的に考察することができる。 4. 将来、専門看護師として活動する際に最も身近な県レベルの看護政策の課題を取り上げ、シミュレーションによる展開を試み、看護政策に関する基礎的な展開能力を養う。 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回 我が国の保健医療福祉政策の動向と背景について (田村 柳井) 専門看護師として必須の知識である近年の保健医療福祉政策、特に医療機能の分化と連携、在宅医療と地域包括ケア推進の流れを社会構造の変化や医療保険・介護保険財政との関連を学修する。 2回 看護サービス提供にかかる政策の動向と課題について (田村 柳井) 急性期医療の充実、在宅医療を含む地域包括ケアを支えるために推進されている「チーム医療」についての考え方を検討するとともに、チーム医療の推進役として成立した特定行為と特定行為研修制度を批判的に検討する。 3回 看護政策の具体的展開の検証 (田村 柳井) 特定行為と特定行為研修制度の成立過程を検討し、看護政策決定における様々なパワーがどのように、どの時点で作用したのかを検証し、政策過程への看護者の参加を促す手がかりを検討する。 4回 臨床、地域における看護の政策的課題について (田村 柳井) クリティカルケア領域、在宅ケア領域を含む看護実践の場において、看護政策課題として取り上げるにふさわしい問題を学習者の立場から抽出するとともに、すでに進められている政策との関連性を検討する。 5回 臨床、地域における看護の政策的課題について (田村 柳井) 第4回の授業で抽出された課題を解決するために、どのような政策的な働きかけが必要かを考え、専門看護師、スタッフナース、看護管理者、施設等管理者の考え方や主張を整理し、解決の方向性を検討する。 6回 福岡県の看護政策について (田村 柳井) 福岡県の地域医療構想と看護職員確保対策、看護サービスの質向上に向けた看護政策資料を分析・討議することによって身近で具体的な看護政策への理解を深める。 7回 福岡県の看護政策の展開シミュレーション (田村 柳井) 第6回の学修内容のうち、全国で最多の准看護師養成校・学生定員の課題を取り上げ、地域の看護の質向上に向けた提案を看護協会、医師会、病院団体、介護施設団体、准看護師養成機関、准看護師生徒等の立場からの主張・意見を整理して、今後の政策の在り方を検討する。 8回 看護政策の学修を通して学んだこと、今後の課題 (田村 柳井) 看護政策の授業を通して各自学んだことを整理して、専門看護師になった後に、地域や臨床で自らどのように看護の質を高めるための活動を展開するかについて考察を深め、発表し意見交換する。 				

学習方法	授業は講義と受講者によるプレゼンテーション、全体討議で進めます。講義内容に関連した事項について、提示する文献・資料等を読み、プレゼンテーション内容を準備して授業に臨んでください。
オフィス アワー	メールで事前に連絡をとってください。 田村：y-tamura@jrckicn.ac.jp（火曜日の昼休み） 柳井：k-yanai@jrckicn.ac.jp（木曜日の昼休み）
テキスト	特に指定しません。
参考文献	<p>下記以外は、授業内で紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井部俊子；中西睦子：看護制度・政策論。東京，日本看護協会出版会，2015. ・田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法。東京，日本看護協会出版会，2015. ・野村陽子：看護制度と政策。東京，法政大学出版局，2015. ・見藤隆子、石田昌宏他：看護職者のための政策過程入門。東京，日本看護協会出版会，2007. ・岩淵豊：日本の医療 その仕組みと新たな展開。東京，中央法規，2015. <p>参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護行政研究会編：看護六法 平成 28 年度版。東京，新日本法規，2016. ・平成 27 年度看護関係統計資料集。東京，日本看護協会出版会，2016.
評価方法	授業への参画（プレゼンテーション、討議）：50%，課題レポート：50%